<u> 平成25年度事務事業評価シート</u>

◎基本情報

事	事務事業名 救急医療対策事業					健康福祉部	健康づくり課
総	合計画体系			根拠流	根拠法令。鳴門市小児救急医療支援		(急医療支援事業補
	基本政策(大項目) 2		ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	計画など		助金交付要網	G
	政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると		開	昭和 ▼	52 年度
	(小項目)		保健•医療	事業	始		J2 平及
	施策		健康・医療対策の推進	期間	終	未定	—
	基本事業	基本事業 4 医療の充実			期	木上	

◎事業	概要(PLAN)							
		☑ 個人 ☑ 世帯 ☑ 団体	<u></u> ₹0)他 [内部管	管理		
事業 対象	誰(何)を対象に しているか	市民						
刈家								
-t- 4k		市民が安心できる地域医療を確保する		同休日	当番制原	度の維持	∳∙存続∜	や二次
事業 目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	救急・小児救急の医療の体制を確保す	る 。					
口 7 床	1-0/20 (1)11////							
_		指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
成果 目標	事業目標の達成度合	 軽度の救急搬送率	32	32	32	32	32	%

◎実施結果(DO)

実施	する	たりよ	をは目標を達成め、手段として うな活動を行っ	小児のコンビニ児健診等の案内 また鳴門市医師 当番医を市の加	内時に「お- 師会との委	子さんの急 託契約によ	病対応」ガ <る夜間・休	イドブックを ト日在宅当	併せて送付	付した。	
事	業	実	施手法	□ 市実施	✓ 一部委	託	委託	□ 補助金	:	その他	
指標名						23年度実績	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	単位
活動指標 実施した事業		1	啓発活動(出	前講座∙連携事	業)	2	2	3	3	3	件
の活動量を す指標	示	2									
成果指標 対象にどの うな効果が	よ	軽度の救急搬送率			41	36	_	-	- 1	%	
あったか示す	ब		目標達	成率(実績/目棋	票)		_	_	_	_	%

	=	コスト分析	23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位
事業費		(財源内訳の合計)	14,709	15,900	15,056	14,709	14,709	
		国	0	0	0	0	0	
	財源内訳	県	410	1,024	410	410	410	
		地方債	0	0	0	0	0	千円
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	14,299	14,876	14,646	14,299	14,299	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)			672	672	672	672	672	
	人件 費	正規職員(6,721千円/人)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	1
	内訳	臨時職員等(2,023千円/人)	0.0					人
総事業	費	(事業費と事業にかかる人件費の合計)	15,381	16,572	15,728	15,381	15,381	千円

【事務事業名:救急医療対策事業】

◎平成25年の実施状況(DO')

現在の実施状況

医療について市民に啓発するため、広報や出前講座を利用していく。 コンビニ受診の抑制を図るためや、子育て支援の充実を図るためにも、小児用救急ハンド ブックの配布を継続していく。

◎項	目別評価(CHE	CK)		
	1.必要性の評価	E j		理由等所見欄
		>	① 廃止した場合に支障が出る。	
		>	② 施策 健康・医療対策の推進 の達成につながる事業である。	
	10	\	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
	. •		市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		✓	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評値	6		理由等所見欄
事務		7	市民生活上の課題解決に貢献している。	市民に対して啓 発する機会を増
事		V	一 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	やし、市民の関
業の	8	>	② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	心を高める取り 組みを検討する。
評価		>	3 事業対象は適切である。	
Щ		>	④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。	
	/10		⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。	
	3.効率性の評価	6		理由等所見欄
		>	① 事業実施手法は適切である。	市民は地域医療や 救急医療について
	0	\	② 事業費を削減する余地はない。	は必要であるという認識はあるが、そ
	0	>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。	れぞれの病院の機
		>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。	能や役割分担等に ついての市民の認
	/10		⑤ 効率性向上の余地はない。	識を一層深める必 要がある。

◎今後の方向性(ACTION)										
課題										
今後の方	向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3				
↓「廃止」	・「要	收善」・「拡充」の場合	は以下の欄に記入し	てください。						
		実施予定時期	•	▼						
今後の 改革案	どの。	ように改革するのか								